



子どもと家族の 緊急支援キャンペーン

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け地域で増加する子どもと家族、高齢者をめぐる生活課題の解決に取り組む活動に助成しています。



新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、子どもたちとその家族等をめぐる生活課題の長期化、広域化、深刻化が強く予想されたことから、本年4月、中央共同募金会と都道府県共同募金会において「赤い羽根子どもと家族の緊急支援全国キャンペーン」が実施されることとなりました。

岩手県共同募金会では、5月から中央共同募金会と協働して助成及び募金の受付を開始しており、8月末現在で県内の10団体に総額1,686,000円の助成金交付を決定しています。

現在も申請受付中ですので、岩手県共同募金会にお問合せいただくか、岩手県共同募金会ホームページ (<http://www.akaihane-iwate.or.jp/>) をご確認ください。

〈助成の内容〉

- 1 助成対象団体
子どもや家族に対する支援活動、こども食堂支援、一人暮らし高齢者への食の支援活動等を実施している民間非営利団体
- 2 助成対象事業
(1) 社会的に孤立することが懸念される子どもや家族、高齢者等を緊急的に支援する活動等
(2) 支援活動の効果や緊急性が高く、活動に伴う経費の必要性が認められる事業
(3) 営利を目的としない事業
- 3 助成額
1 団体当たりの助成上限額は30万円

助成金を活用した
団体の声をご紹介します

ひとり親世帯に食材を配布

滝沢市つながり・つながる・ フードパントリープロジェクト

社会福祉法人
滝沢市社会福祉協議会(滝沢市)



従来からチャグっこ食堂(子ども食堂)の開催を通じ、子育て世帯の支援活動に取り組んでいましたが、会食を伴う“集いの場”の再開が難しいことから、平時から家事や食費の負担が大きいひとり親世帯を対象として食材配布を行う「滝沢市つながり・つながる・フードパントリープロジェクト」を実施しました。

民生委員・児童委員を通じて対象世帯に周知したところ、29世帯91名から申込みがありました。配布する食品は子ども食堂開催当初から連携している、いわて生活協同組合と打合せし、常温保存可能かつ生協組合員に人気のある商品を選定しました。

また、この取組を知った婦人会や寺院、商工会女性部等からは食品・手作りマスク等を寄贈いただき、欲しいものを自由に選んでもらえるように、ボランティアが中心となり会場にセットしました。

食品引渡し会場へはお子さんと一緒に来られる方が少なくなく、お菓子やマスク、ボールペンを品定めしている姿がとても楽しそうで、事務局もボランティアもうれしく感じました。

対象となった住民の方からは「たくさんの方々から優しさを頂くと、心に少し余裕が生まれ、明日からも頑張ろうという気になれます。皆様の善意に感謝しながら大事にいただきます」との声がありました。